

育成すべき資質・能力の 三つの柱	大泉の自主・自律・創造	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	レベル5
知識・技能 何を理解しているか 何ができるか	興味関心をもち、 課題を発見する力	与えられた問題・課題に興味関心をもつことができない。	与えられた問題・課題に対して興味関心をもつことができる。	与えられた問題・課題から発展した内容に興味関心をもつことができる。	幅広い問題・課題を自ら発見し、興味関心をもつことができる。	幅広い問題・課題に対し興味関心をもち続け、数学と自分の興味があることを関連付けることができる。
	自分の可能性を信じ、 やり抜く力	集中して問題に取り組むことができない。	集中して問題に取り組むことができる。	難しい問題に対しても、諦めず取り組み続けることができる。	難しい問題に対しても諦めず取り組み、どこがわからないのかを発見することができる。	どんな問題に対しても、別解を考えたりするなど、深いところまで考えることができる。
	挑戦する力	問題・課題に挑戦することができない。	与えられた問題・課題に対して挑戦することができる。	与えられた問題・課題に対して前向きに挑戦することができる。	自ら発見した問題・課題に対して、挑戦することができる。	自ら発見した問題・課題に対して、周りの意見を参考しながら、挑戦することができる。
思考力・判断力・表現力等 理解していること・できることを どう使うか	解決に向けて 論理的に思考する力	問題を自分で考えることができない。	問題を自分で考えることができる。	答えを導くだけでなく、その道のりについても考えることができる。	より最適な答えへの道のりを考えることができる。	自分が考えた道のりを、他者にわかりやすく伝えることができる。
	自他の違いを認め、 思いやる力	自分の能力を正しく把握することができない。	自分の能力を正しく把握することができる。	他者の能力を認めることができる。	他者の能力や意見を尊重することができる。	他者に助言を求めたり、他者に助言をしたりすることができる。
	学びを実践に移す力	問題の解き方を、相手に説明するすることができない。	問題の解き方を、相手に説明することができる。	問題の考え方を、自分の言葉で相手に説明することができる。	数学で学んだことを実生活に生かす方法を考えることができる。	数学で学んだことを実生活に生かすことができる。
学びに向かう力・人間性等 どのように社会・世界と関わり、 よりよい人生を送るか	自ら学びを継続する力	与えられた範囲の予習復習に取り組むことができない。	与えられた範囲の予習復習に取り組むことができる。	自ら予習復習に取り組むことができる。	自ら予習復習に取り組み続けることができる。	予習復習から発展した内容について自ら学び続けることができる。
	多様な人々と協働する力	グループワークなどの活動に参加することができない。	グループワークなどの活動に参加することができる。	グループワークに参加し、積極的に他者と関わろうとする。	他者と意見を交わすことができる。	他者とともに、よりよい解法を導くことができる。
	自己実現に向かう力	目標をもって問題・課題に取り組むことができない。	目標をもって問題・課題に取り組むことができる。	自ら目標を定めて、問題・課題に取り組むことができる。	自らの目標を達成するための道のりを考え、問題・課題に取り組むことができる。	目標を達成させたり、達成できなかったときは修正したりして、問題・課題に取り組むことができる。